



学校図書館だより

11月号

令和5年11月
柏市立柏第二中学校
柏市学校図書館

秋がぐっと深まり、朝晩の冷え込みには冬の気配を感じるようになりました。日が暮れるのも早くなりましたが、晴れた日の空は高く、青く、いろいろなことに気持ちよく取り組むことができそうです。秋の夜長は「灯火親しむべし」です。学校図書館には、世界を広げる知識の本も、心を豊かにする物語もたくさんあります。ほっとする灯りの下で、広く深い本の世界を味わってください。

市内中学生ビブリオバトル開催！

10月22日（日）に柏市立図書館主催の「市内中学生ビブリオバトル」の決勝が行われました。

チャンプ本：柏の葉中学校代表
『方丈記』 鴨長明 / 角川学芸出版



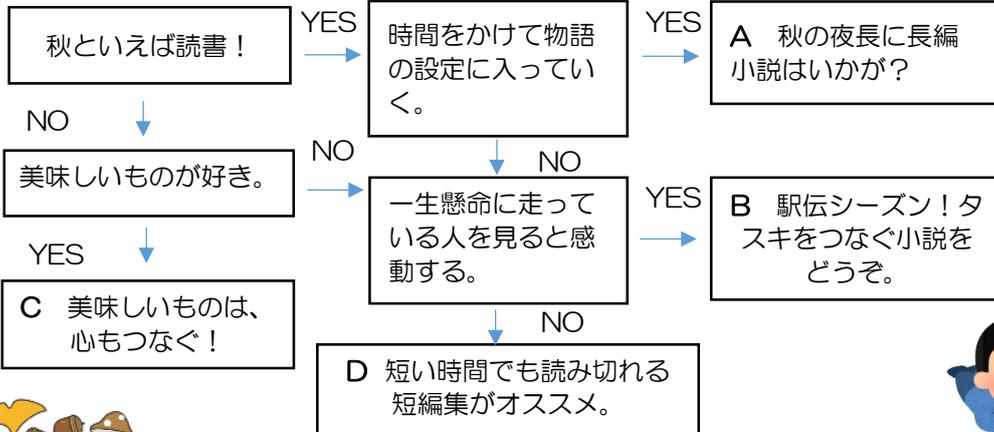
準チャンプ本：柏第三中学校代表
『電話をしてるふり』
バイク川崎バイク / ヨシモトブックス

新着本展示会のお知らせ

11月21日(火)より新着本の貸出しを始めます！
新着本は緑のテープが目印です。
図書委員がおすすめ本POPを作成しました。ぜひ、借りにきてください。

今月のおすすめ本チャート

秋の夜長を楽しむために



A 『サラバ!上・下』
西加奈子 著 小学館 <913/ニシ>
1977年5月、坏歩は、イランで生まれた。父の海外赴任先だ。チャーミングな母、変わり者の姉も一緒だった。イラン革命のあと、しばらく大阪に住んだ彼は小学生になり、今度はエジプトへ向かう。後の人生に大きな影響を与える、ある出来事が待ち受けている事も知らずに――。
(小学館ホームページより<https://www.shogakukan.co.jp/>)

B 『あと少し、もう少し』
瀬尾まいこ 著 新潮社 <913/セオ>
走るの好きか？そう聞かれたら答えはノーだ。でも、駅伝は好きか？そう聞かれると、答えはイエスになる――。応援の声に背中を押され、力を振りしぼった。あと少し、もう少しみんなと走りたいから。中学校最後の駅伝だから、絶対に負けられない。襷を繋いで、ゴールまであと少し！
(新潮社ホームページより<https://www.shinchosha.co.jp/>)

C 『宙ごはん』
町田そのこ 著 小学館 <913/マチ>
物ごころついた時から育ての「ママ」と一緒に暮らしてきた宙（そら）。小学校入学をきっかけに産みの「お母さん」、花野（かの）と暮らすことになるが、彼女は理想の母親像からは程遠く…。
(小学館ホームページより <https://www.shogakukan.co.jp/>)

D 『家族シアター』
辻村深月 著 講談社 <913/ツジ>
「家族」で起こる、ささやかな大事件。近くにいてから傷つけ合う。遠くにいてもわかり合える。大好きだけど、大っきらい――読めばきっと、あなたの「わが家」に帰りたくなる。
(講談社BOOK倶楽部より<https://bookclub.kodansha.co.jp/>)